



参加者プロフィール



① -1. 国宝青井阿蘇神社

大同元年(806 年)創建。現在の社殿は相良長毎(さがらながつね)により慶長 15 年から 18 年(1610-1613)にかけ造営。平成 20 年 6 月 9 日、青井阿蘇神社の社殿郡 5 棟が国宝に指定される。国内で最南端の国宝建築物。熊本県内に現存する文化財の国宝指定は初めてである。

黒塗りで傾斜が急な萱葺き屋根に、極彩色を用いた彫刻や模様の特徴がある。安土桃山時代(1573-1603)の華麗な装飾性も機敏に取り入れ、近世の人吉球磨地方における社寺建築の手本となる。



御祭神は、初代の天皇である神武天皇の孫 健甕龍命(たけいわたつのみこと)、その妃の阿蘇津媛命(あそつひめのみこと)、子供の國造速甕玉命(くにのみやつこはやみかたまのみこと)の三柱の神。これらの神々は開拓の守護神であり、ご加護を受けながら人吉球磨地方の開拓が営まれ、安住の地を整えていった。

① -2-1. 丸目蔵人佐長恵(まるめくらんどのすけながよし)

タイ捨流の流祖。1540 年 熊本県八代生まれ。

本姓は山本。初陣の戦功により『丸目』姓を与えられる。

丸目家は、熊本県南部の領主であった相良氏の家臣。

上泉伊勢守信綱について新陰流を学ぶ。1567 年 信綱より印可状を受けたのち、より実践的な剣法『タイ捨流』を創始、西国に広め多くの門弟を育てた。

晩年は徹斎(てっさい)と号し、1629 年に 89 歳の長寿を全うした。



① -2-2. 兵法タイ捨流

兵法タイ捨流とは、今から約 450 年前の戦国時代(1467-1590)に相良藩(現在の熊本県球磨郡錦町)で生まれた剣術。流祖 丸目蔵人佐が、実戦で培った経験を工夫研究研鑽し、自分を活かし相手も活かす活殺剣法を編み出した。

日本を東と西の二つに分けて西の天下一とうたわれた蔵人佐は、剣術指南役として西日本一円に兵法タイ捨流を広め、多くの門弟を育てた。この道統は、現十五代宗家まで脈々と受け継がれている。

タイ捨流の「タイ」という言葉には、「体」「待」「対」「退」など多くの漢字が当て嵌る。
「体」を使うことを捨てる
「待つ」ことを捨てる
「対峙」することを捨てる
「退がる」ことを捨てる・・・

即ち、考えずに動ける自然体。自然と共に在ること。「タイ捨」という言葉にはこのような意味が込められている。



① -3. 写真家 濱田喜幸

四方を深い山に囲まれた熊本県人吉球磨地方は、12～19世紀半ばに至る700年もの長い間大きな戦乱にも遭わず、相良氏が統治を続け近代を迎えた。日本ではこのような例は極めて稀であり、おかげで江戸時代(1603-1868)より更に前に作られた貴重な仏像や文化財が多く残されている。

この地に生まれ育った写真家 濱田喜幸は、ライフワークとして貴重な文化財群を撮影。それらを自ら制作した伝統的な技法による和紙に印刷。作品を発表し高い評価を得ている。



① -4. 筆字作家 雪駄

グラフィティアートに影響を受け、創作活動始める。筆と墨が持つ繊細さと力強さを追求し、漢字をアートに昇華していきたいと考え、文字とオリジナルデザインの落款（らっかん）を組み合わせた作品を制作している。

主に骨をメインモチーフとしたイラストを好み、アナログ制作の際は、下描きをせず頭の中のイメージを紙やキャンバスに直接描くという手法を用いる。平野耕太氏原作のアニメーション作品

『ドリフターズ』本編中の筆字デザイン、エンディング他のプロモーションイラストを担当。企画展やイベントへの参加、ライブドローイング等の活動も行っている。

今、企画において、伝統の日本和紙(槻木(つきぎ)和紙)とのコラボが決定。『侍う-SABURAU-』の題字なども手掛ける。



① -5. 水引工芸家 内野敏子

「普段の暮らしに水引を」をテーマにオリジナル作品の制作販売や、熊本にて水引教室主宰、日本各地にてワークショップや展覧会・個展などを開催。

○日本十字社から仏十字社へ贈る 150 周年記念品制作

○「神の手・ニッポン展Ⅱ」出展

○2018 年 6 月ニューヨークにてバスケットリーググループ展出展など 他多数

水引結びは、引けば引くほど強く結ばれる。その意味合いから水引は、お祝い事に皆が幸せになるよう祈りを込め、また人と人を結び付けるものとして古くから日本で使われている。

水引を通して世界中が結び付き一つになれるよう願いを込め現在も作品を生み出し続けている。



① -6. 株式会社 東山堂

国内外問わず武道具を開発製造している（株）東山堂。

今回、侍うとのコラボレーションとして特別仕様ハイクオリティの御刀が完成。兵法タイ捨流龍泉館館長 山本隆博監修のもと伝書を元に忠実に再現した。

尚、この御刀は受注生産のみ受け付ける予定。刀身の長さや重さ、鐔の形状を変えることが可能。



① -7. 株式会社 星道

「日本の職人が丹精込めて作り上げる高品質な純日本製の武道用品を、世界中の武道家にお届けしたい」という想いで、2010 年、日本在住の合気道家によって設立。日本製の高品質な武道用品を見極め、熟練の職人が作り上げるクオリティ高い純日本製の武道用品を適正価格で販売することにこだわりをもつ。

現在、5つのオンラインショップを運営。数千を超える日本製武道用品を取り扱う。



① -8. 刀鍛冶 赤松太郎兼光×柄前師 大塚寛信「肥後復興拵」

日本刀剣界をいずれ担う新鋭作家二人が熊本復興を願い思いを込めて作り上げた合作。制作期間三年という大作。



サブカルチャー作品紹介

② -1. D R I F T E R S

日本のサムライ、古代ヨーロッパの戦術家、西部開拓時代のガンマン、第二次世界大戦時の軍人など古今東西の英雄が、中世ファンタジー風の異世界に召喚されるアクション系歴史ファンタジー作品。

タイトルの「ドリフターズ」とは「漂流物、放浪者」などを意味する。前作の『HELLSING』同様、陰影を強調した重厚な絵柄や独特の大仰な台詞回しが特徴。歴史上の偉人が一堂に会するロマン。史実が多数盛り込まれている逸話を思わせるエピソード。道具・技術の進化や文化・概念の違いが、如何に現実世界に変化をもたらしたか等、人類の歴史の変遷も描かれている。

主人公の島津豊久が『タイ捨流』を使うことで、今回の『D R I F T E R S × 兵法タイ捨流』のコラボが実現した。



③ -2. 武装少女マキャヴェリズム(ARMED GIRL'S MACHIAVELLISM)

武装した女子による男子支配が行われている学園を舞台にした反逆バトルアクション漫画。古流剣術の絶技を可愛い少女達が惜しみなく披露している。術理の解説なども明確。メインキャラクターの一人が、『タイ捨流』を使うことで、今回の『武装少女マキャヴェリズム×兵法タイ捨流』のコラボが実現した。

今回はデジタル漫画を活かし、伝統の日本和紙(槻木(つきぎ)和紙)への特殊プリントを施した。



② -3. MUJIN-無尽-

江戸の終焉…幕末の動乱期に現れた「伊庭の小天狗」伊庭八郎の生涯を岡田屋鉄蔵が描く。幕末を生きた伝説の剣士が繰り広げる本格時代劇。今回、岡田屋先生のご厚意により、特別にタイ捨流を伝統の日本和紙(槻木(つきぎ)和紙)に描き下ろし『MUJIN-無尽- × 兵法タイ捨流』のコラボが実現。



サブカルチャー作家紹介

③ -4. 漫画家 平野耕太

1973 年 7 月 14 日生まれ。日本の漫画家。アクション・ギャグ作品を主に手がける。

1998 年より『ヤングキングアワーズ』にてイギリス国教会とカトリックのヴァンパイアハンターおよびナチスの吸血鬼軍団による三つ巴の戦いを描く『HELLSING』を連載、同作は 10 年近い長期連載へと至る人気作となり、世界的に漫画家としての知名度を確立する事になった。

2009 年に『HELLSING』を完結させ、新たに各時代の武士・軍人達が異世界で戦う『ドリフターズ』の執筆を開始した。

② -5. 漫画家 神崎かるな/黒神遊夜

(comic by KARUNA KANZAKI story by YUYA KUROKAMI)

日本の漫画家/作家。角川コミックス エースで『武装少女マキャヴェリズム』連載中。過去作「しなこいっ」「竹刀短し恋せよ乙女」など日本の古武道を題材とした作風で大人気。

③ -6. 漫画家 岡田屋愉一

2007 年「タンゴの男」(宙出版) 岡田屋鉄蔵名義でデビュー。2010 年奇譚時代劇「千」(白泉社) 発表後、時代劇ジャンルに活動の場を広げる。2011 年、国芳一門を題材にした「ひらひら国芳一門浮世譚」(太田出版) を発表、文化庁メディア芸術祭推薦作品に選出され評判を得る。2016 年「口入屋兇次」(集英社) 日本漫画家協会大賞最終選考ノミネート。2018 年、若き歌川国芳を描いた「大江戸国芳よしづくし」(日本文芸社) が再び文化庁メディア芸術祭推薦作品に選出される。現在少年画報社ヤングキングアワーズ誌にて「無尽〜MUJIN」連載中

② -7. 漫画家 井上雄彦

1967 年生まれ。

1990～1996 年、高校バスケの青春を描いた『SLAM DUNK』を週刊少年ジャンプ(集英社)に連載。これが大ヒット作品となり、国内発行部数は完全版を含めて 1 億 1,700 万部を記録。1998 年からは剣豪・宮本武蔵を主人公とした『バガボンド』を週刊モーニング(講談社)に連載。韓国や香港などアジアはもとより、イタリア、フランス、ドイツ、スペインなどでも発行され、世界中に根強いファンをもっている。

文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞、手塚治虫文化賞マンガ大賞などを受賞、2009 年には文化庁芸術選奨新人賞、ほかに受賞多数。

ご不明な点やご質問等ございましたら、こちらまでご連絡ください。

【侍う実行委員会事務局】 実行委員長 山本隆博

〒869-4224 熊本県八代市鏡町塩浜307-2(兵法タイ捨流龍泉館内)

TEL : 0965-37-8009 Fax : 0965-37-7117 Mail : taisharyu.ryusenkan@gmail.com

【錦町役場企画観光課】 担当 蓑田興造

〒868-0302 熊本県球磨郡錦町一武 1587

TEL : 0966-38-4419 Fax : 0966-38-1575 Mail : kou-minoda@nihsiki.kumamoto.jp